

## < 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介させていただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

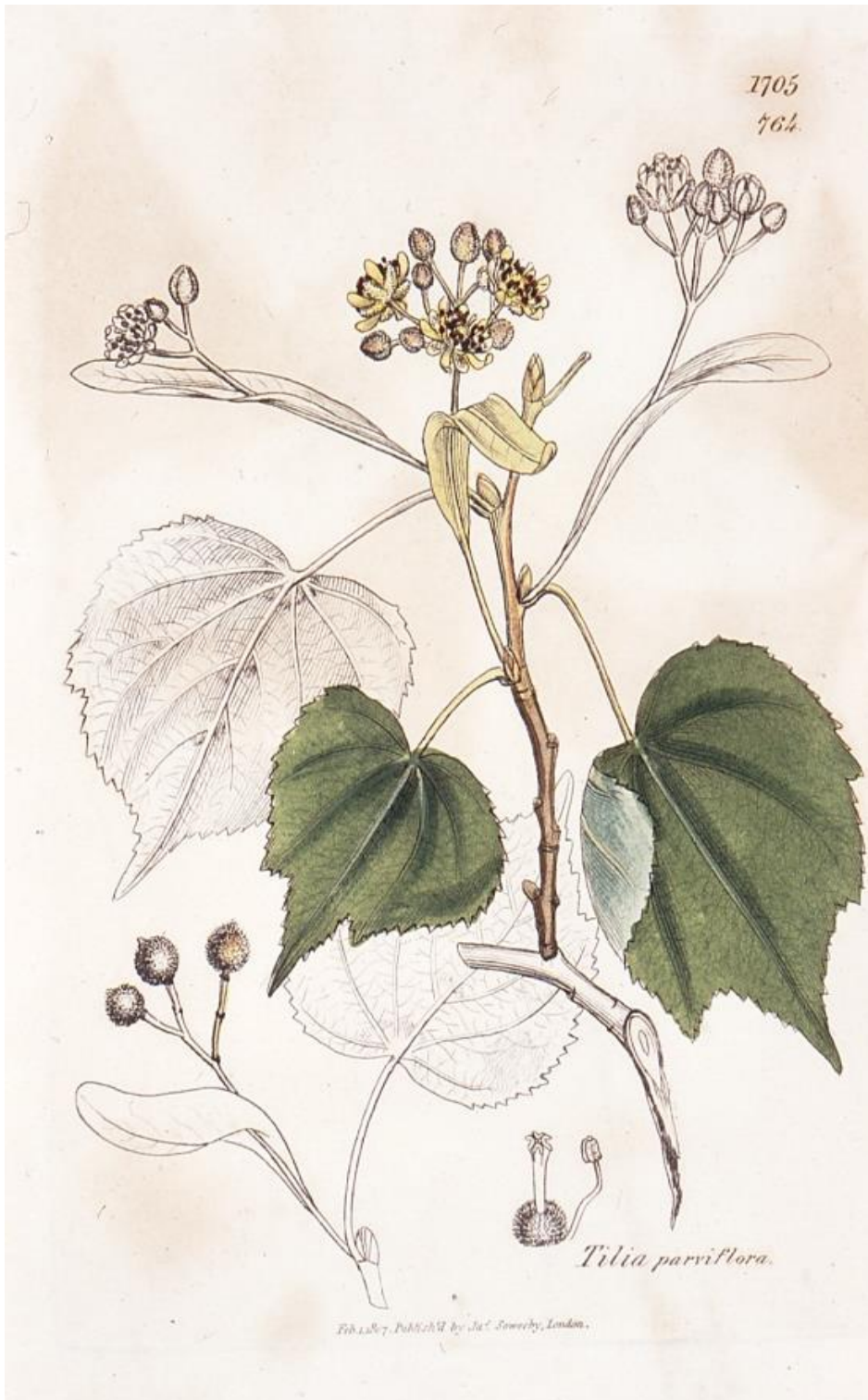
# ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第34回

セイヨウボダイジュ (シナノキ科)



落葉性の高木で、ヨーロッパではリンデンバウムとして親しまれています。

6月中旬頃に葉腋から、細い葉と共に花柄を伸ばし、黄白色の花を開きます。花と葉には鎮静作用がありますので、不安神経症による不眠によく用いられます。また、狭心症、心筋梗塞、動脈硬化症予防にも効果があります。入浴剤としても親しまれています。

お寺によく植えられる菩提樹は中国から持ち込まれた種で、本画とは異なります。また、お釈迦様が悟りを開かれた菩提樹はクワ科に属する高木で、熱帯に自生し、本種とは全く異なる木です。

サワビーによる1800年頃の作品です。